



受付日：平成31年1月30日  
受付番号：HP19-KT013

## 接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-17  
ニューピア竹芝ノースタワー17階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 吉田 正司

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
令和元年6月7日

1. 接合金物名称	シナーコーナー 床合板仕様
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「シナーコーナー 床合板仕様」 材質：溶融亜鉛めっき高張力鋼板 以下の強度を満たす炭素鋼*1 引張強さ;590N/mm<sup>2</sup> 降伏点;460N/mm<sup>2</sup> 寸法：(外形)30mm×42mm×120mm 板厚t=2.3mm 接合具用孔(柱側)4-φ6.8mm (横架材側)2-φ6.8mm 表面処理：Z27(JIS G 3302)相当</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「木ねじ TBA-65」4本 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：頭部径φ9.3mm 胴部径φ5.5mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.0mm L=65mm 表面処理：エコート*2 WH処理</p> <p>横架材側：「木ねじ TBA-120」2本 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：頭部径φ10.8mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.0mm L=120mm 表面処理：エコート*2 WH処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：9.0~12.0% 全乾密度：0.39~0.45g/cm<sup>3</sup></p> <p>横架材：105mm×105mm×450mm スギ 無等級材 含水率：8.0~12.0% 全乾密度：0.40~0.45g/cm<sup>3</sup></p> <p>枅材：95mm×570mm 厚さ30mm スギ 無等級材 含水率：9.5~11.0% 全乾密度：0.40~0.48g/cm<sup>3</sup></p> <p>床合板：105mm×80mm 厚さ30mm 構造用合板 特類2級 含水率：8.0~9.0% 全乾密度：0.40~0.53g/cm<sup>3</sup></p> <p>4) その他</p> <p>柱材と枅材の接合：鉄丸くぎN75 9本</p> <p>*1 試験ではNFG600(微細粒圧延鋼板(株)中山製鋼所製の定める規格に適合したもの)を使用した。 *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：柱芯より横架材木口側に200mmの位置で角座金W9.0×80及びM16ボルト・M16ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) また、加力時に試験体の偏心を防止するためのサポート治具を設けた。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>10.0</b> kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成31年2月27日、令和元年5月28日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 千葉 博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。